令和１年度　第27回倉敷ケーブルテレビ番組審議会　議事録

１　開催年月日　令和２年３月10日（火）～3月27日（金）

２　開催場所　新型コロナウィルス感染防止・拡大抑止のため書面開催

３　番組審議委員

伊東香織 倉敷市長代理／くらしき情報発信課長主幹 安藤俊晴
黒田　晋 玉野市長代理／秘書広報課 石田陽子
片岡聡一 総社市長代理／市政情報課 吉田
井上正義 倉敷市教育長代理／学校教育部長　渡邉俊一
井上峰一 倉敷商工会議所会頭
山根一人 玉野商工会議所会頭代理／主査 佐野公康
大島康弘 児島商工会議所会頭
清水　男 総社商工会議所会頭
岡田光弘 倉敷青年会議所理事長
片山了介 児島青年会議所理事長

４　議　題

＜番組審議＞

▽ＴＯＭＯＲＲＯＷ
▽日々、テシゴト。
▽その他自主制作番組
※資料１【DVD2枚】

＜報　告＞

▽2019（H31）年度、2020年度（R2）年度　自主制作番組
※資料２【放送概要】

５　審議内容

＜倉敷市＞

＜TOMORROW＞

社長と大学生を絡めた番組ということで、地元の会社の PR と学生の社会・地域学習を兼ねてあるよい企画だと思います。

進行も社長、学生も初め緊張ぎみという印象だったので、収録前のウォームアップやスタジオでない収録などリラックスできる形を加えてみるといいかも知れないと感じました。テーマに関しての深堀りは、ややたりない印象でしたが、短時間・大学生ということを踏まえると水準かと思いました。

地域を知らないと言っていた人たちに見てもらいたい番組ですね。

＜日々、テシゴト。＞

審議会資料の中でのリストにはなかったのですが、ニュースの後にやっているのはよいと思います。

高梁川流域デジタルアーカイブのように５分くらいで色々な内容をニュースの後に見せるのもよいと思いました。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

県知事の会見の生中継など地元ケーブルテレビならではの放送があり、有難く思います。

＜玉野市＞

＜TOMORROW＞

〇企業の代表者と学生との対話の中で貴重な意見が聞けた。
　ただ、テーマがわかりにくかった。（会社の紹介、働き方について、観光について）

〇企業の代表者が番組アンカーとして司会進行するのはおもしろい取組だと思うが
　もう少しテンポ良くメリハリがあればいいと思った。

＜日々、テシゴト。＞

〇全体的に、ゆっくりとした流れとやわらかい音楽が、ひとつひとつ丁寧に作業する
　「テシゴト」と調和していて良かった。

〇倉敷緞通ができる工程を興味深く見ることができた。

〇職人や倉敷緞通の愛用者の言葉からも、緞通の魅力が感じられる作品になっている
　と感じた。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

いつも玉野市をとりあげていただき、ありがとうございます。

ＫＣＴワイドでのニュース放送実績も前年度よりアップしていました。

令和２年度は、玉野市制８０周年を迎え、色々な行事がありますので、

ぜひ玉野市の取材をよろしくお願いいたします。

＜総社市＞

＜TOMORROW＞

前半は、話をする内容（テーマ）が度々変わり、理解しにくい部分がありました。
MC としてアナウンサーの方に入ってもらえば全体的にまとまりが出るかと思います。

＜日々、テシゴト。＞

・映像や編集が美しく、職人の方の思いも伝わってきました。
・冒頭３分程度は何についての番組かわからなかったので、導入を短くしても良いかと思います。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

なし

＜倉敷市教育委員会＞

＜TOMORROW＞

変化の激しい現代社会で若々しい感性と行動力で企業を経営していらっしゃる若い経営者の方々とさらに若い世代の実際の社会で経験していないがゆえの斬新な発想ができる学生との対話が見られる後半部分が特に興味深かったです。
これまでの日本の社会は、この番組で学生たちが述べたような考え方をどちらかと言えば「現実的でない」とか「採算がとれない」といった理由でおさえてきたように感じています。しかし、それは「これまでの社会システムの中」では「非現実的」だったり「非採算的」であったのだと考え、これまでの社会のスケールをはずしながらビジネスも進めていかねばならないのではないかと考えました。

＜日々、テシゴト。＞

まず「倉敷緞通」の美しさが際立って表現されていたことについて素晴らしかったと思います。伝統的な製法を継承しながら現代的なデザインを採り入れ、なおかつ「民芸品」としての位置を逸脱しないようにする姿勢は、柳宗悦氏の民芸思想をもしっかり継承されているようにもとらえました。こうした地道ながら信念のこもった取り組みを広く紹介することができる番組であったように思います。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

西日本豪雨災害があってから、地域ローカルメディアの重要性が倉敷地域の人々にもより広く認知されたように思います。
私自身としても、徐々に中央キー局の番組にリアリティを感じなくなってきています。
グローバルでタイムリーな情報はネットで収集し、ローカルの情報はきめ細かにローカルメディアで収集するという流れは、加速していくのではないでしょうか。
より地域に密着した即時性の高い放送を期待します。

＜倉敷商工会議所＞

＜TOMORROW＞

若手経営者と経営学部学生のトーク番組は、女性創業者の事業に懸ける思いと、その原動力が子育てにあることなど現場取材の VTR が出演者間のイメージの共有化を図り、スタジオで深堀する展開となっている。キャスターの SR インターナショナル頼政社長が、女性の立場から女子学生が将来想定される職場の課題を提起し、解決策を示している。実体験を通した発言は説得力に富み、中小企業の長所を分かり易く伝えている。学生たちは若手事業者との間にシンパシーを感じるなど、トーク番組として愁眉である。筋書きのない構成により驚きを視聴者に感じさせ、女性事業家のキャラクターに負うところは大きいものの本年トークにより実のある情報提供が図られている。元々この番組は地元若手経営者と学生とのマッチングをコンセプトとしていたが、学生インタビューや経営者の発言から学生と経営者が抱いていた先入観を払拭し、中小企業の新たな働き方の発見が学生たちに残っている。ディレクターのキャスティングが光った番組である。

＜日々、テシゴト。＞

映像、ナレーション（語り口）共に心地よい。ワンカットごとに時間をかけて丁寧に仕上げている。時間が止まり、過去にタイムスリップしたような手仕事緞通の制作現場、用の美や飾らない美しさである生活道具の民芸を真の美しさとして映像が語っている。新たな撮影ツールとしてドローンやドリーを効果的に使い、被写体に静かに迫っている。製作者のポリシーを強く感じる。瀧山雄一氏は倉敷緞通が素材・技術・人・地域が揃って復活したと語る。地元倉敷の愛好家インタビューから職人の仕事を地域の支えが大切さであることを強く感じ取る。手仕事は一つ一つ丁寧に工程を追って出来上がる。ぶれない伝統工芸の作品には、職人の人と成りが凝縮されている。見事に映像で表現されコンパクトに素晴らしい番組として仕上がっている。質の高い倉敷の民芸は世界に通用することを印象図ける。地域で日常使われ、生活の中に定着している民芸は、緞通をはじめ倉敷ガラス、酒津焼、倉敷張り子、備中和紙など地場産業はもとより観光産業としてインバウンドに役立つ。民芸を理解する観光客に作品を通して日本人の philosophy を発信することが出来る。オーバーツーリズムも新型コロナウイルスにより沈静化しているが、また復活する時には、倉敷民芸を理解できる質の高い感性を持ち合わせた観光客に来倉してもらいたいものである。民芸を国内はもとより海外へパッケージで紹介すべきであり、地域の良さを知り尽くして、いつも市民に寄り添うコミュニティメディアに課せられたミッションである。倉敷商工会議所の地域産業の振興に貢献することの助けになり、また求める地域愛は一緒である。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

１２ｃｈKCT ワイドについて、放送本数は前年比＋２２８本と大幅に上回り評価されるが、その反動でもある取材依頼対応率が 74.5%と前年を下回っている。前年が豪雨災害での取材依頼に応えたことで、当年に反動が出たとコメントされているが、市民のリクエ

ストに応えることが最優先であると思うが、いかがでしょうか？
いずれにしても地域密着は、1,685 本の放送本数から評価に値する数字である。
いつも応援しています。

＜玉野商工会議所＞

＜TOMORROW＞

・普段会うことの出来ない企業の代表者と学生が意見を交わし、地元企業について知ってもらう良い番組と感じました。

・育児休業やテレワークなど先進的な取り組みを率先して地域の企業が行っていることを知ることは学生にとって企業を選ぶ視野が広がり、大学生の地元就職にも一役買うことに繋がると思います。

・「３０分番組」という制約があるため難しい面がありますが、番組の目的がやや分かりづらく個人的には絞った方が良いと感じました。

①地元大学の学生に地元企業について知ってもらうことが目的であれば
⇒１名だけでなく３名の代表者それぞれの企業や取り組みの紹介をしてもらう。

②地元大学の学生が地元企業の社長と討論して岡山や観光のことについて考えることが目的であれば
⇒1 大学のみでなく２、３校の大学生に出演してもらい討論する。

・会社の代表者自らが司会進行するのではなく、司会者（アナウンサーなど）が社長と学生の間に１名入ることによりやりとりがスムーズになると思います。

・撮影セットが全体黒色のため場が少し暗めに感じました。KCT ワイドのような明るめのセットにすれば雰囲気が変わると思います。

＜日々、テシゴト。＞

・短時間ながら良く内容がまとめられている番組と感じました。

・民芸品は見学や説明してもらう機会がなかなかなく、商品そのものではどういったところが良いのか分かりづらい。作成に手間のかかる背景や物語を説明してくれる番組があることは、「倉敷に誇る良い品がある」という地元の人にとっても PR に繋がると思います。

・倉敷が中心であるが、放送地域内の特産品等も幅広く紹介してもらいたい。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

・現在新型肺炎の影響で飲食業や宿泊業など岡山県内の事業者が大きな影響を受けております。ケーブルテレビ様ならではのきめ細かい取材を活かして放送地域内の宿泊施設や穴場のカフェなどを取り上げていただき、地元をさらに盛り上げる活動を期待しております。

＜児島商工会議所＞

＜TOMORROW＞

企業家と学生とで地元のことについてディスカッションする場があるというのは、いい企画だと思いますが、以下のことについて少し気になったことを挙げます。

① スタジオの雰囲気が暗く、話題についてもあまり興味がわかない。

② 同じ大学の学生が参加していたが、県内の様々な大学の学生であったり、「岡山の観光」に特化するのであれば、そういったサークルの学生を集める等がいいのではないか、と感じた。話の内容に特段、珍しいものが感じられなかった。

③ 逆に、今回のような内容なら、「テレワーク」等についての話題のほうが、より身近に感じられ、興味をもたれるのではないか、と思う。

④ 司会進行には、その場を盛り上げたり楽しく進行することが大事だと思うので、やはり、そういった専門の方がコントロールするほうが見ていて楽しいと思う。

⑤ 話題の中心が、倉敷ケーブルテレビの視聴が可能な範囲に特化したほうが、見ているものに身近に感じられ、伝わりやすいと思う。

＜日々、テシゴト。＞

倉敷緞通の良さが視聴者に伝わり、とても良かったと思います。

構成、カメラワークや語り口等、素朴で飽きさせないものとなっており、見る人を引き付けます。知ってはいたけれども、改めてその良さを再確認するいい番組で、シリーズで是非見たいと感じました。

手仕事のもつ風合いや素材の素晴らしさ、作品の愛おしさが伝わってきました。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

いつも拝見していて、倉敷の良さをいろいろな角度から伝えていただき感謝します。

地元ならでは、をさらに掘り下げて、私たちに伝えていただきたいと思います。

ありがとうございました。

＜総社商工会議所＞

＜TOMORROW＞

良い企画だと思います。

継続して下さい。

＜日々、テシゴト。＞

良い企画だと思います。

継続して下さい。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

地域の話題を取り上げた企画が多く、また企画力（魅せ方）もよいと思います。

＜倉敷青年会議所＞

＜TOMORROW＞

地元企業の社長と地元の学生によるクロストークということで、最初は司会がプロの人を付けてトークを回した方が良いのかなと感じて見ていたが、見ている内に社長自身が進行役として展開していくことが、スピーディーに見えてきて、自主制作らしい雰囲気で、このスタイルの方が惹きつけられるように思えた。

学生が質問して社長が答えるというより、テーマに対して、学生が自分の意見を出して社長が補うような流れだったので、見ている側からすると若い新鮮な意見が聞けて良かった。学生も一つの学校ではなく、色々な学校から代表して出てきてもおもしろいのではないかと感じた。

＜日々、テシゴト。＞

倉敷ならではの特産や技術をまだまだ地域住民に知られていないものが多い。

このような番組や情報をぜひどんどん発信していただき、地域住民がより深く自分たちの住むまちの持つ魅力を感じてほしい。

番組の内容については、倉敷緞通の作り手の想いであったり、温かさ、真剣さが伝わってきて、この番組を見て実際にこの商品が欲しいと感じた。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

コミュニティチャンネルとして今後も地域に密着した番組を制作して欲しい。

また、明るい話題であつたり、きめ細やかな情報であつたり、今後も取材や中継などリアルでホットな情報を届けていただきたいと思う。

＜児島青年会議所＞

＜TOMORROW＞

・内容自体は興味深いです。

・もう少し明るいセットの方が話しやすそうと感じました。必要以上に硬いイメージに見えてしまうので。

・司会が固定で別にいた方が、内容がより深くなりそうと感じました。

・このトーク後に変わった、これがきっかけで何かが実現した、学生がこういう仕事に就いて頑張っている、などのフォローがあったらこの番組に出てみたいと思う企業や学生、そこからまた新しいテーマや企画が生まれるかもしれませんね。

＜日々、テシゴト。＞

・倉敷ならではの、モノづくりを紹介記録するのは大変すばらしいことと思います。

・ゆっくりとしたナレーションはききやすいです。

・この仕事を選ぶエピソードや職業観のインタビューがありますがもっと入れていただいて、市内の学生にみてもらうような仕掛けができればより良いと思います。

そのためには、もう少し若者が興味をひきやすいような構成を今一度考える必要があるかもしれません。

＜その他、番組全体についてのご意見・ご要望＞

・ローカルテレビは、地元の視聴者同士や番組内で取り上げられる企業をより身近につなげてくれるものと思っています。未成年（学校）や主婦などと地域がより未来でつながるような番組をこれからも制作し続けていただけることを期待します。

・児島を取り上げてもらっている回数が少ないのが、残念です。児島の方がもっと発信やPRを強くする意識を持たねばなりませんね。

・聞きかき甲子園という取り組みがあり、それは学生がインタビュアーになって職人や企業のことを勉強し記録していくものですが、その映像版のような企画をKCTさんがうまくまとめてつくれば、企業PRと学生の地域興味と地元雇用や産業活性につながるものになるかもしれません。

6　審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法　倉敷ケーブルテレビホームページ

公表の内容　審議内容抜粋

公表年月日　令和2年4月20日（月）～